

令和6年12月20日
文 京 区

独立行政法人水資源機構が発行するサステナビリティボンド の購入について

文京区は、積立基金の運用を通じた社会貢献への取組として、独立行政法人水資源機構（以下「同機構」という。）が発行するサステナビリティボンド（第22回水資源債券。以下「本債券」という。）を購入しました。

同機構は、大都市圏に水を安定的に供給することを目的として国の全額出資により設立された独立行政法人で、国民生活の向上と産業経済の発展に寄与しています。

本債券の発行により調達された資金は、今後懸念される気候変動による渇水の頻発化や豪雨災害の更なる激甚化等の課題に対してその被害の回避・軽減するために必要不可欠なダム及び用水路などの建設事業等に充当され、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成にも貢献するものです。

サステナビリティボンドは、調達資金の使途が、①気候変動緩和・適応に資するもの（本債券については気候変動適応）や環境改善効果を有するものであること（グリーン性）及び、②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券です。

また、本債券は、「ソーシャルボンド原則 2020」、「サステナビリティボンド・ガイドライン 2018」、「グリーンボンド原則 2018」及び「環境省グリーンボンドガイドライン 2020年版」に適合している旨、株式会社格付投資情報センター（R&I）から第三者評価を取得しており、第三者評価の取得については、環境省の「適応プロジェクト等のグリーンプロジェクトの活性化に向けたグリーンボンド・グリーンローン等の発行促進体制整備支援事業」の補助金交付対象となっております。

文京区は、引き続き、SDGsの視点を生かして社会的課題や環境問題の解決に貢献する取組を進め、今後も、持続可能な社会の形成に向けた社会的責任を果たしてまいります。